

ご使用前に、この使用説明書を最後までよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

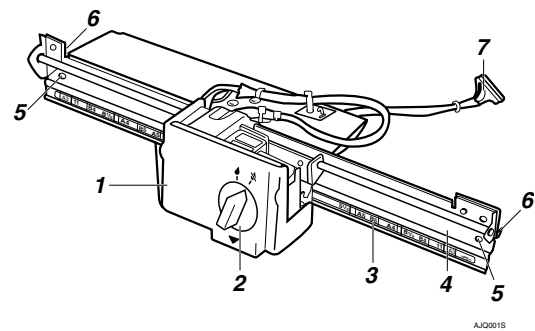
本書は、IS760D スキャナー本体に、IS760D エンドーユニット（以下エンドーユニット）を取り付けて使用する手順について説明しています。

1 本機について

同梱品を確認する

- 使用説明書（本書）
- 本体
- インクカートリッジ（黒）
- ねじ2本

各部の名称



1. **インクカートリッジボックス**
下部にインクの噴出し口があります。
2. **シャッターレバー**
インクの噴出し口の開閉を行います。
3. **ゲージ**
印字位置の目安のための目盛りです。
4. **レール**
インクカートリッジボックスを左右に動かすためのガイドです。

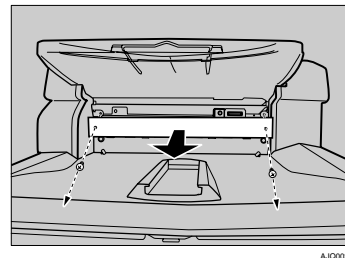
5. **ねじ穴**
エンドーユニットをスキャナーに固定するためのねじ穴です。
6. **フック**
エンドーユニットをスキャナーに固定するときに使用します。
7. **コネクター**
エンドーユニットとスキャナーを接続します。

2 スキャナーに取り付ける

操作の前に

スキャナーの電源をOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。スキャナーの電源のOFFのしかたについては、スキャナーに同梱されている使用説明書の2章「電源を入れる・切る」を参照してください。

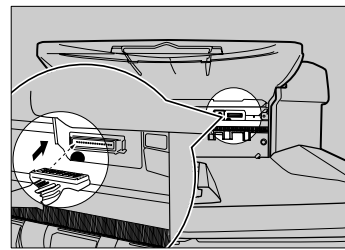
1. スキャナーの金属板の両端のねじを外し、金属板を外します。



補足

□ スキャナーに付属の工具をご使用ください。

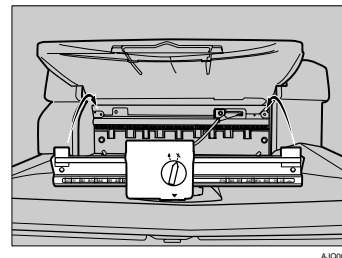
2. エンドーユニットに付属しているコネクターを、スキャナー側のコネクターに接続します。



補足

□ 図のように、エンドーユニットのコネクターの凹凸がある面を上にして、スキャナー側のコネクターの黒色シールと、エンドーユニットのコネクターの黒色側の向きを合わせて接続してください。

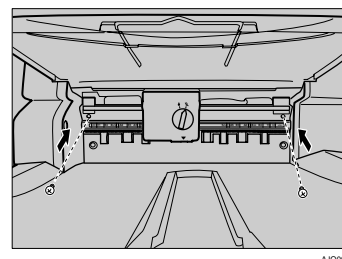
3. エンドーユニットに付属しているフックを、スキャナー側の切り欠きに引っ掛けます。



重要

□ エンドーユニットに付属しているフックを、スキャナー側の切り欠きに引っ掛けるとき、インクカートリッジボックスが、中心よりも左側にあるように位置をセットしてください。

4. エンドーユニットの両端をねじで固定します。



補足

□ エンドーユニットに同梱のねじを使用してください。

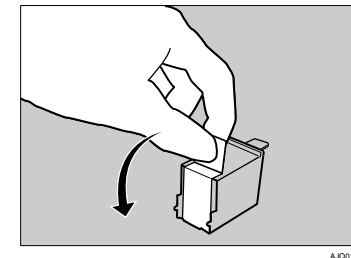
3 インクカートリッジを取り付ける

制限

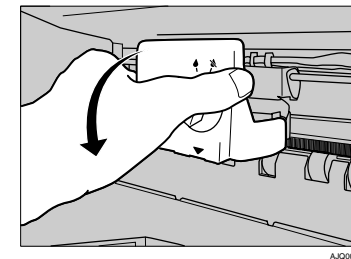
□ 開封後6ヶ月を過ぎたインクカートリッジは交換してください。

1. インクカートリッジを袋から取り出します。

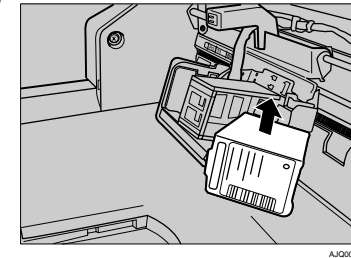
2. インクカートリッジに付いているシールをはがします。



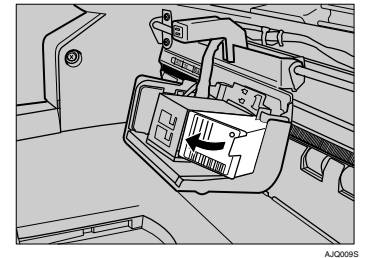
3. インクカートリッジボックスを手前に傾けます。



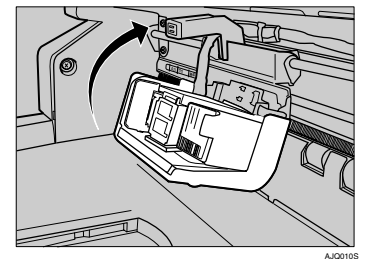
4. インクカートリッジを差し込みます。



5. インクカートリッジを押しながら左にスライドし、カチッという音が2回するまで押し込みます。



6. インクカートリッジボックスを戻します。



7. 電源プラグをコンセントに差し込み、スキャナーの電源をON にします。

8. ご使用のコンピューターのTWAINドライバーから、カウンターをクリアします。



カウンターをリセットするには

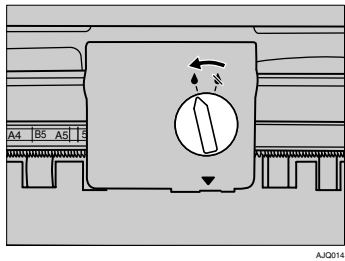
1. TWAINドライバーの[初期設定]をクリックします。
2. [原稿スタンプ設定]タブをクリックし、[カウンタークリア]をクリックします。
カウンターがリセットされます。

4 エンドーサユニットで印字する

操作の前に

電源プラグをコンセントに差し込み、スキャナーの電源をONにしてください。スキャナーの電源のONのしかたについては、スキャナーに同梱されている使用説明書の2章「電源を入れる・切る」を参照してください。

1 シャッターを開きます。



2 テスト印字を行います。

手順③から⑤にしたがって、テスト印字を行ってください。

印字した文字が汚れていたり、印字がされなかったときは、インクカートリッジを清掃してください。詳細については次の「インクカートリッジを清掃する」を参照してください。

補足

□ 下記のように印字されれば正常です。

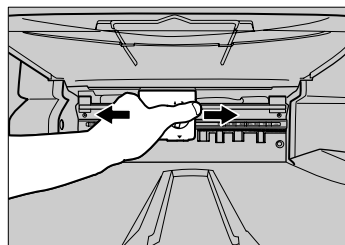
abcde

3 スキャナーのADF(自動原稿送り装置)に原稿をセットします。

参照

□ 原稿のセット方法については、スキャナーに同梱されている使用説明書の4章「原稿のセットのしかた」を参照してください。

4 インクカートリッジボックスを、原稿に合わせて印字を行いたい位置に手動でセットします。

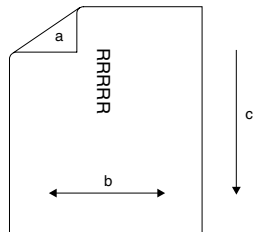


補足

□ ゲージを目安にしてセットしてください。
□ 原稿の裏面のみに印字されます。

制限

□ 印字位置は、イラストの方向にのみ設定可能です。



- a. 原稿の表面
- b. 設定可能な方向
- c. 原稿が送られる方向

□ 原稿の端から6.5mm以内には印字をしないでください。排紙トレイ上の原稿にインクが付着することがあります。

5 TWAIN ドライバーから設定を行い、読み取りを実行します。

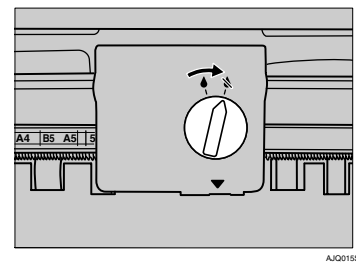
補足

□ テスト印字を行い、必ず印字状態を確認してからご使用願います。テスト印字の詳細については、TWAINドライバーのヘルプを参照してください。
□ 印字した文字が汚れていたり、印字がされなかったときや、気温の低い場所で使用したときは、インクカートリッジを清掃してください。詳細については次の「インクカートリッジを清掃する」を参照してください。

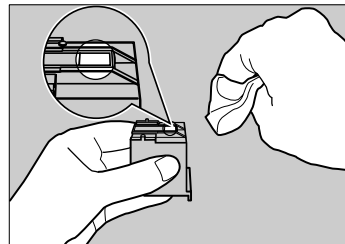
参照

□ TWAIN ドライバーからの設定の詳細については、TWAINドライバーのヘルプを参照してください。

6 印字終了後、インクカートリッジボックスのシャッターを閉じます。



インクカートリッジを清掃する



重要

□ イラストで白く表示されている部分以外のインクカートリッジの金属部分には触れないでください。接触不良の原因となることがあります。

参照

□ インクカートリッジの取り外しかたについては、「5.インクカートリッジを交換する」を参照してください。

補足

□ インクカートリッジを清掃後に取り付ける場合は、カウンターのクリアを行わないでください。

5 インクカートリッジを交換する

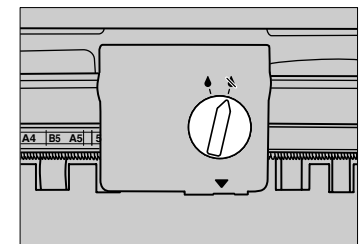
インクの残量が少なくなると、コンピューターの画面に「インクカートリッジの交換時期です。交換後、カウンタをクリアして下さい。」というメッセージが表示されます。

以下の手順で、インクカートリッジを交換し、TWAINドライバーからカウンターをクリアしてください。

重要

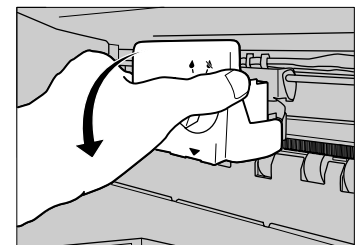
□ TWAINドライバーの指示があるまでは、インクカートリッジを交換しないでください。
□ 使いかけのインクカートリッジは使用しないでください。TWAINドライバーのカウンターと実際のインク量の不一致が原因で、インクが出なくなる可能性があります。

1 インクカートリッジボックスのシャッターが開まっているか確認します。

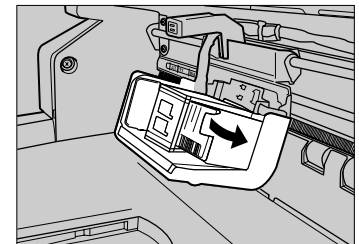


シャッターが開まっていない場合は、閉じてください。

2 インクカートリッジボックスを手前に傾けます。



3 インクカートリッジを取り外します。



6 エンドーサユニットで印字できる文字について

印字文字

以下の95種類の中から印字する文字を選択してください。

(スペース)!"#\$%&'()*+,-/*@[]:;<>{|}~.^_?`-0-9 A-Z a-z

最大文字数

ご使用の原稿によって、印字することができる最大文字数が異なります。以下の表を参照ください。

用紙サイズ (原稿の長さ)	最大印字可能文字数	
	読み取り中印字 読み取り後印字 ¹⁾	読み取り後印字 ²⁾
A3 (420mm)	40	14
A4 (297mm)	40	14
A5 (210mm)	40	14
A6 (148mm)	35	14
A6 (105mm)	17	14
B4 (364mm)	40	14
B5 (257mm)	40	14
B6 (182mm)	40	14
B6 (128mm)	27	14
11"×17" (431.8mm)	40	14
8 1/2"×14" (355.6mm)	40	14
8 1/2"×13" (330.2mm)	40	14
8 1/2"×11" (279.4mm)	40	14
5 1/2"×8 1/2" (139.7mm)	40	14
5 1/2"×8 1/2" (139.7mm)	32	14
最小サイズ (90mm)	11	11

¹⁾ 表面のみの読み取りを行った場合

²⁾ 両面または表面のみの読み取りを行った場合

7 エンダーサユニットで印字できる領域について

読み取り中印字

原稿の読み取りを行うと同時に印字が行われます。原稿が排紙トレイに送られたときには、印字が完了しています。

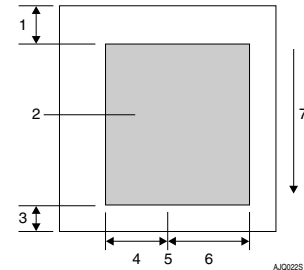
●制限

- 読み取りとは関係なく、原稿の裏面のみに印字が行われます。
- 原稿の端から6.5mm以内には印字をしないでください。排紙トレイ上の原稿にインクが付着することがあります。

「印字位置」を「原稿先端」に設定して印字を行う場合

●補足

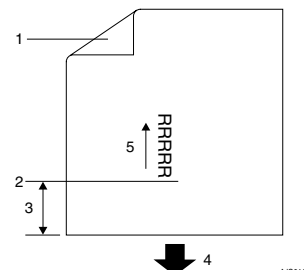
- 「原稿先端」モードでは、ADF側の辺からの距離で指定された位置から印字が開始されます。詳細については、TWAINドライバーのヘルプを参照してください。



1. 43 mm
2. 印字可能範囲
3. 20 mm
4. 96.5 mm
5. 原稿の中心
6. 136.5 mm
7. 原稿が送られる方向

<「原稿先端」で印字を行う場合の設定例>

用紙サイズ：A4 ㊦、5文字、印字位置：70mm、印字の向き：右90°で設定して印字した場合の例を示します。

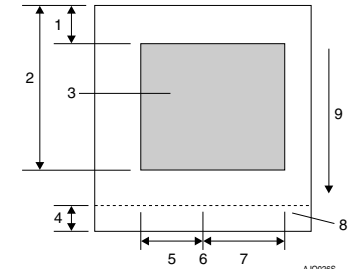


1. 原稿の表面
2. 指定した印字開始位置
3. 70mm
4. 原稿が送られる方向
5. 印字される方向

「印字位置」を「原稿後端」に設定して印字を行う場合

●補足

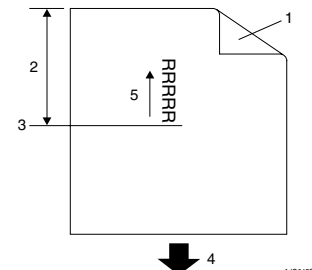
- 「原稿後端」モードでは、ADFにセットした辺の反対側の辺からの距離で指定された位置から印字が開始されます。詳細については、TWAINドライバーのヘルプを参照してください。



1. 43 mm
2. 247mm
3. 印字可能範囲
4. 20 mm
5. 96.5 mm
6. 原稿の中心
7. 136.5 mm
8. 印字ができない領域
9. 原稿が送られる方向

<「原稿後端」で印字を行う場合の設定例>

用紙サイズ：A4 ㊦、5文字、印字位置：70mm、印字の向き：右90°で設定して印字した場合の例を示します。



1. 原稿の表面
2. 70mm
3. 指定した印字開始位置
4. 原稿が送られる方向
5. 印字される方向

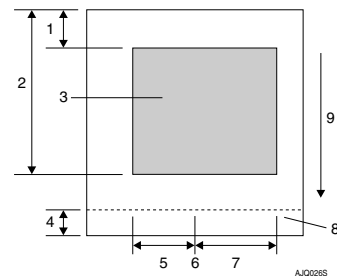
読み取り後印字

読み取り終了後に印字が行われます。原稿が排紙トレイに送られたときには、印字が完了しています。

●制限

- 読み取りとは関係なく、原稿の裏面のみに印字が行われます。
- 読み取り後印字を指定した場合、「印字位置」の設定は「原稿後端」のみになります。
- 原稿の端から6.5mm以内には印字をしないでください。排紙トレイ上の原稿にインクが付着することがあります。

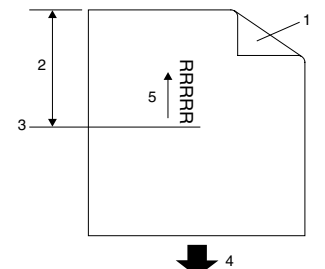
表面のみの読み取りの場合



1. 43 mm
2. 172 mm
3. 印字可能範囲
4. 20 mm
5. 96.5 mm
6. 原稿の中心
7. 136.5 mm
8. 印字ができない領域
9. 原稿が送られる方向

<表面のみの読み取りの場合の設定例>

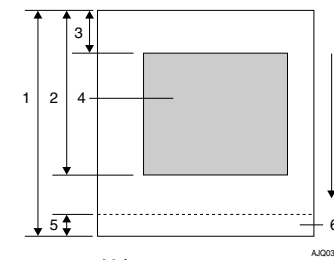
用紙サイズ：A4 ㊦、5文字、印字位置：70mm、印字の向き：右90°で設定して印字した場合の例を示します。



1. 原稿の表面
2. 70mm
3. 指定した印字開始位置
4. 原稿が送られる方向
5. 印字される方向

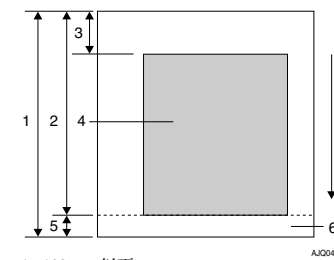
■ 印字可能範囲と印字できない領域の関係

a. 縦方向が192mm以上の原稿の場合



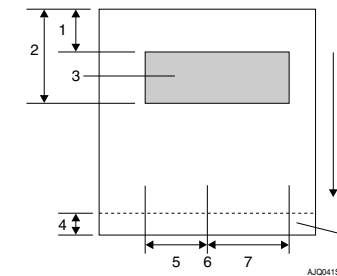
1. 192 mm以上
2. 172 mm
3. 43 mm
4. 印字可能範囲
5. 20 mm
6. 印字ができない領域
7. 原稿が送られる方向

b. 縦方向が192mm以下の原稿の場合



1. 192 mm以下
2. 172 mm以下
3. 43 mm
4. 印字可能範囲
5. 20 mm
6. 印字ができない領域
7. 原稿が送られる方向

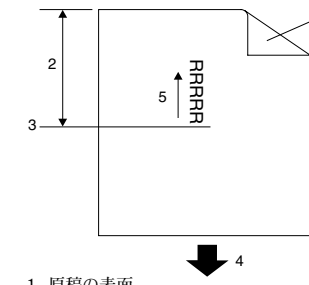
両面または裏面のみの読み取りを行う場合



1. 43 mm
2. 77 mm
3. 印字可能範囲
4. 20 mm
5. 96.5 mm
6. 原稿の中心
7. 136.5 mm
8. 印字ができない領域
9. 原稿が送られる方向

<両面または裏面のみの読み取りを行う場合の設定例>

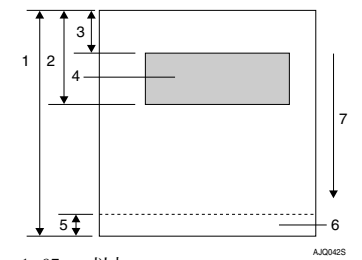
用紙サイズ：A4 ㊦、5文字、印字位置：70mm、印字の向き：右90°で設定して印字した場合の例を示します。



1. 原稿の表面
2. 70mm
3. 指定した印字開始位置
4. 原稿が送られる方向
5. 印字される方向

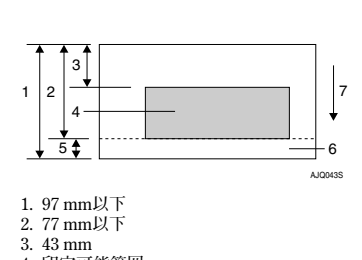
■ 印字可能範囲と印字できない領域の関係

a. 縦方向が97mm以上の原稿の場合



1. 97 mm以上
2. 77 mm
3. 43 mm
4. 印字可能範囲
5. 20 mm
6. 印字ができない領域
7. 原稿が送られる方向

b. 縦方向が97mm以下の原稿の場合



1. 97 mm以下
2. 77 mm以下
3. 43 mm
4. 印字可能範囲
5. 20 mm
6. 印字ができない領域
7. 原稿が送られる方向

8 付 録

清掃

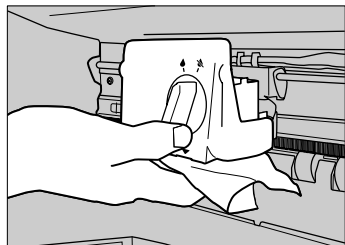
警告

- 本書で指定している部分以外のカバーやねじは外さないでください。機械内部の点検・調整・修理はサービス実施店に依頼してください。
- この機械を改造しないでください。

エンドーサユニットを良好な状態に保つために、定期的に清掃してください。

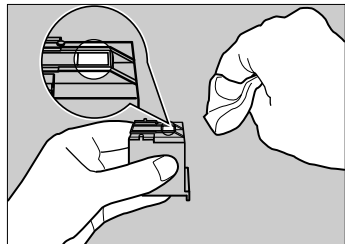
インクカートリッジボックス底の金属板と、インクカートリッジボックスの底面のインク噴き出し口付近の汚れを、やわらかい布でふき取ってください。

インクカートリッジボックスの清掃



AJ00215

インクカートリッジの清掃



AJ00385

重要

- イラストで白く表示されている部分以外のインクカートリッジの金属部分には触れないでください。接触不良の原因となることがあります。

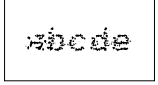
参照

- インクカートリッジの取り外しかたについては、「5.インクカートリッジを交換する」を参照してください。

補足

- インクカートリッジを清掃後に取り付ける場合は、カウンターのクリアを行わないでください。

思い通り印字できないとき

状態	対処方法
印字がされない。 文字が汚れている。	以下のような状態になった場合、インクカートリッジの清掃を行ってください。  AJ00485
印字した文字が汚れている。	インクカートリッジボックスのインクの噴出し口、または噴出し口周辺が汚れています。清掃を行ってください。
思った位置に印字がされない。	主走査方向(原稿が送られる方向)に対して直角の方向)はインクカートリッジボックスを手動で動かして位置を調整してください。 副走査方向(原稿が送られる方向)はTWINドライバーの設定を確認してください。

エラーメッセージが表示されたとき

メッセージ	原因と対処方法
インクカートリッジの交換時期です。交換後、カウンターをクリアして下さい。	インクカートリッジにインクがありません。インクカートリッジを交換し、TWINドライバーからカウンターをクリアしてください。
原稿スタンプ位置に原稿がありません。原稿スタンプを移動させてください。	インクの噴出し口がセットされている位置には原稿が送られてきません。インクカートリッジボックスを手動で主走査方向(原稿が送られる方向)に対して直角の方向)に動かし、原稿がある位置までインクの噴出し口を移動させてください。
原稿スタンプのシャッターが閉じています。シャッターを開いてから読み取りを行ってください。	シャッターが閉じたままになっています。シャッターを開いてください。
排紙トレイに原稿が残っているか、または、原稿スタンプのカバーが開いています。	排紙トレイに原稿がないか確認してください。また、原稿スタンプのカバーが開まっているか確認してください。
原稿スタンプから応答がありません。	スキャナーの電源をOFFにし、再度ONにしてください。それでも発生する場合は、サービス実施店にご連絡ください。
指定された文字の中に印字できなかったものがあります。	印字設定と印字可能範囲があていません。印字指定位置と原稿サイズを確認し、設定を変更してください。
原稿スタンプにインクカートリッジがついていません。カートリッジをつけてください。	インクカートリッジがインクカートリッジボックスに装着されているか確認してください。装着されている場合、再度取り付けを行ってください。また、インクカートリッジにシールがついたままになっていないか確認してください。

スキャナーのインジケータの点灯について

読み取りの後にエンドーサユニット内でエラーが起きた場合、スキャナー本体のインジケータが、紙づまりのときと同様に点灯します。インジケータの点灯については、スキャナーに同梱されている使用説明書の6章「インジケータの点灯・点滅がいつもと違うとき」を参照してください。これらのインジケータが点灯すると、スキャナーで読み取ったデータがご使用のコンピューターに正しく送信されていても、エンドーサユニットでの印字がされないことがあります。原稿とご使用のコンピューターを確認してください。

消耗品の購入について

以下の消耗品の購入については、販売店またはサービス実施店に相談してください。

- インクカートリッジ(黒)
- インクカートリッジ(赤)(オプション)

廃棄

本機もしくはインクカートリッジを廃棄したいときは、販売店またはサービス実施店に相談してください。

制約事項

以下の点に注意して、本機をお使いください。

- 穴の開いた原稿には印字できません。
- 原稿サイズを混載しての印字はできません。
- インクジェット印刷に適していない原稿には印字できません。

仕様

印字タイミング	ポスト印字
印字面	原稿裏
文字方向	原稿送り方向に対して、右向き、もしくは左向き
印字文字種	文字種：95種
印字フォント	OCR Bフォント相当
印字ポイント	9ポイント
印字桁数	40桁 ¹⁾
印字色	黒・赤(オプション)
インク寿命	500万文字以上または開封後6ヶ月
対応紙厚	45kg~135kg

¹⁾ 画像確認後印字する場合は適用除外する。小サイズ原稿の場合適用を除外する。

電波障害について

他のエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、次のようにしてください。

- テレビやラジオなどからできるだけ離す。
- テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える。
- コンセントを別にする。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

高調波ガイドライン適合品

家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠